

新しい公共支援事業構成事業「多様な主体による交流促進事業」  
事業企画提案書

平成 2 4 年 2 月 2 4 日

神奈川県知事 殿

住 所 神奈川県相模原市緑区西橋本

1 - 1 6 - 1 8

郵便番号 2 5 2 - 0 1 3 1

団 体 名 特定非営利活動法人 ふれあい自然塾

代表者氏名 理事長 松 井 利 夫



多様な主体による交流促進事業について、次のとおり関係書類を添えて応募します。

事業計画の概要	<p>※事業を実施する地域を明記してください。</p> <p>県央及び県北地域において、「子どもの健全育成を図る活動」を主として行なっているか、必要性を感じている NPO、企業、大学、行政等に交流の場を提供して参加を呼びかけます。</p> <p>交流の場に参加した団体が持つ「強み」を引き出して「協働の力」で、子どもの健全育成を図る上での問題解決にあたります。</p> <p>同時に、交流の場に参加した団体の活動が自立・定着することを促進し、新たな参加を促すことによってネットワークの深化を図ります。</p>
委託料見積金額	<p style="text-align: center;">2, 5 6 0, 0 0 0 円</p> <p style="text-align: center;">※ 委託料の対象となる経費の見積金額を記入してください。</p>
応募理由	<p>弊団体は、野外での自然体験を通して子どもの健全育成を図る活動を主に行なっています。同じ目的で活動している他の団体との情報交換や相互の協力など徐々に実績を上げてきております。しかし、ネットワークの整備が十分ではないため諸団体の得意分野、何を目指しているのか、どのような協力を期待しているのか、などがよく分からないのが現状です。そこで弊団体がネットワークづくりに役立ちたいとの思いから応募いたしました。</p>



## 実施計画書

### 1 現状認識と課題認識

(多様な主体による協働・連携に関する現状認識と課題認識を記入してください。なお、記載に当たっては「新しい公共支援事業の実施に関するガイドライン」及び「神奈川県新しい公共支援事業基本方針・事業計画」を参考にしてください。)

(1) 当会の主な活動分野である「環境の保全」、「子供の健全育成」等の分野において、地域では様々な主体が活動を行っています。特に NPO は所属する地域の立地や自然環境などの特性を生かした活動を行っています。

特性を生かした活動を行っている NPO はホームページやコミュニティー誌等でその活動を公表しているものの、独自のホームページを公開している NPO は数少なく情報交換や協力体制を構築するのが難しい現状です。その情報発信力は弱く一部の人にしか知られていないという課題があります。

(2) 当会を支援する企業は社会貢献を実施したいものの、一社では企画や運営が難しいと感じて当会への支援を通して社会貢献しています。

他の主体と連携して社会貢献活動を実施したいという企業は多いが、連携先を選ぶ情報が少なく一歩踏み出す段階に至らないという課題があります。

### 2 事業の具体的内容

(24年度の事業の具体的内容について記入してください。)

(1) 3か月に1度「会報」を発行します。

(2) 3か月ごとに子育ての問題に取り組む NPO、企業、大学、行政等の交流会を開催します。

(3) 5回目の交流会までには、NPO、企業、大学等の共同運営事業立ち上げの目処を付けることを目標とします。

(4) 交流会では、各地域の「子育てにかかわる NPO」や「企業」などから、「NPO や企業などが、お互いに何を必要とし、何が出来るのか」などの意見交換や「提案書」の提出、そこからマッチングを行い、行える事業を検討。

(5) 5回目の交流会では、「講演会」、「パネルディスカッション」および参加者全員による「懇親会」を開催します。

(6) 各エリア・各種団体に引き続きアンケートを継続して実施し交流の輪を広げます。

(7) 其々の団体を訪問し、交流会への参加と企画提案を呼びかけます。

### 3 事業の効果

(この事業により、どのような効果があるのか記入してください。)

第一段階：交流会を通して地域内の団体が何を求めている、お互いに何が出来るかの意見交換を行い、其々の意思を確認し合います。

第二段階：交流会やその準備活動を通じて情報交換をしながらコミュニケーションを深め、具体的な活動の実行に移していきます。

第三段階：第二段階で実行に移した事業を自立した組織として継続させ、新たな事業展開と地域内に協働コーディネート機能を創出させる。

### 4 この事業に関連する団体のこれまでの取組み及びアピールしたい点

#### (1) この事業に関連する団体のこれまでの取組み

(この事業に関連して団体として取り組んできた活動の実績を記入してください。)

- ① 県央・県北の企業・NPO等にアンケートを実施しました。  
実施件数：250件、有効返信50件、参加および参加検討数35件
- ② 2012年1月19日(木)「第1回交流会」実施しました。  
参加件数：25団体、32名参加
- ③ 各団体への訪問(ネットワークの意義、交流会への参加の声掛け等)。
- ④ 今後の交流会の方向性として、「提案書」の作成を各団体へ依頼しました。  
「提案書」をもとに企業・NPO・大学・行政等のマッチングを行い、事業立ち上げを目指しています。

#### (2) この事業に関連する団体のアピールしたい点

(この事業を実施するにあたってアピールしたい団体等の特徴などを記入してください。)

- ① 2009年11月に国税庁の認定を取得したNPO法人として、活動内容、経理・財務管理体制は第三者から厳しくチェックされています。
- ② 2011年12月末時点での会員数は、全国で個人123名 企業10社の計133人です。  
組織力を発揮して地域のNPO、企業や各種団体等をこまめに訪問して連携を深めることができます。
- ③ 2011年1月から12月までの1年間に自然体験事業を4件実施し114人の参加、ふれあい教育事業は7件実施406人の参加です。
- ④ 2011年11月には相模原市緑区の地域活性化事業交付金事業に選定され、参加者100名を超す「相模川クリーンハイキングとヤツボ探訪」事業を実施しました。

## 5 事業の実施体制

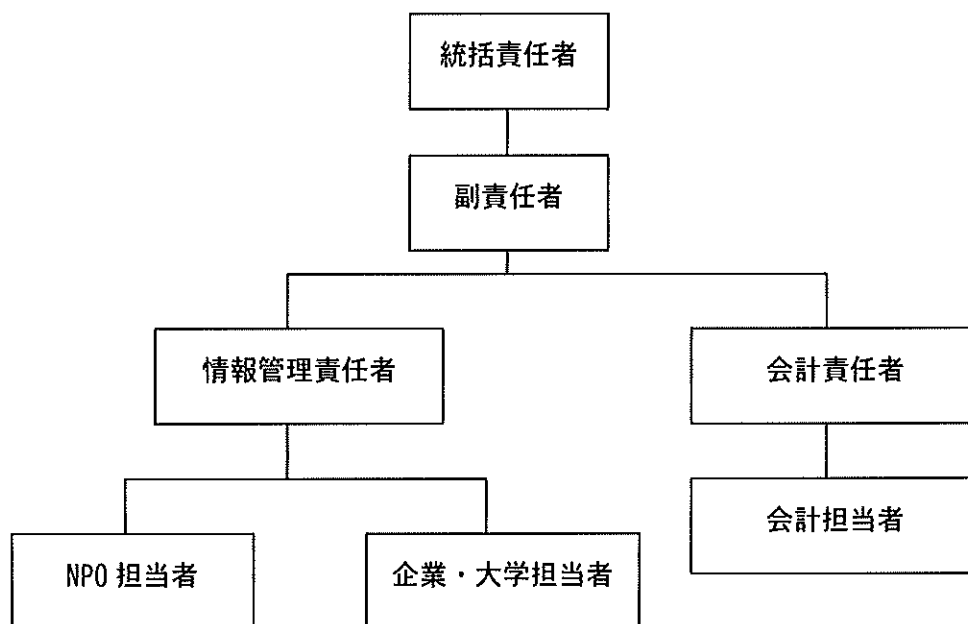
(この事業に関する責任者やスタッフの数などについて記入してください。有資格者などの専門人材についても記入してください。)

- (1) 総括責任者 1名
- (2) 副責任者 1名
- (3) 会計責任者 1名
- (4) 情報管理責任者 1名
- (5) その他担当者 2名

※上記スタッフ中 常勤者1名、非常勤2名

※(4)(5)は兼務可

### (6) 実施体制図



## 6 事業成果の把握

### ○成果の把握

(この事業により支援を受けたNPO等の成果を把握するため、どのような指標を設けるか、記入して下さい。)

- ・ネットワークに参加したことによって、情報交換や事業の連携を検討することになった団体の数。

### ○提案者の自己評価

(提案者が行う自己評価について、どのような方法で行うのか記入して下さい。)

- ・ネットワークに参加した団体の数。
- ・事業の連携について検討を開始した団体の数。
- ・事業の連携を開始した団体の数

7. 事業のスケジュール

<24年度>	事業実施内容
平成24年4月	「ふれあい Network 通信 No. 2」発行 第2回交流会及び勉強会の開催 運営委員会への平成23年度の実施結果の報告
平成24年5月	交流会実施報告書作成（第2回報告書作成） 参加団体募集活動
平成24年6月	参加団体募集活動と第3回交流会の準備
平成24年7月	「ふれあい Network 通信 No. 3」発行 第3回交流会及び勉強会の開催
平成24年8月	交流会実施報告書作成（第3回報告書作成） 参加団体募集活動
平成24年9月	参加団体募集活動と第4回交流会の準備
平成24年10月	「ふれあい Network 通信 No. 4」発行 第4回交流会及び勉強会の開催 交流会実施報告書作成（第4回報告書作成）
平成24年11月	交流会実施報告書作成（第4回報告書作成） 参加団体募集活動
平成24年12月	第5回 交流会・イベントの準備
平成25年1月	「ふれあい Network 通信 No. 5」発行 第5回 交流会・イベント開催

事業実施内容	
平成25年2月	イベント、交流会実施報告書作成（第5回報告書）
平成25年3月	平成24年度の成果の取りまとめと評価

## 収支予算書 (平成24年度)

科 目	金 額 (円)	備 考 (積算基礎等)
(収入の部)		
業務委託料	2,560,000	
収入合計 (A)	2,560,000	
(支出の部)	(支出の部)	
人件費	1,440,000	常勤職員 (1名: 50,000円/12ヶ月)、 非常勤職員 (2名: 40,000円/12ヶ月、30,000円/12ヶ月)
旅費交通費	65,000	スタッフ移動費用 5回×2名 橋本～厚木・海老名・大和・座間愛甲 石田間 (電車代から算出)
消耗品費	200,000	紙、インクなど
通信運搬費	73,000	電話、ネット使用料、切手代等
印刷製本費	120,000	コピー代
HP 管理費	32,000	2,625円×12か月
広告宣伝費	30,000	マンス誌 (マンスニュースなど)
会議費	500,000	・ イベント (会場費: 398,000円) ・ 交流会 (会場費: 10,500×4回) ・ 打ち合わせ (会場費: 2,500×6か所×4回)
謝礼金	100,000	講師謝礼・交通費など
支出合計 (B)	2,560,000円	
収支差額 (A - B)	0円	

※ 「企画募集のご案内」4ページの対象となる経費を参考に記入してください。

※ 収支差額 (A - B) = 0の予算を作成してください。